



令和5年度

太田小だより 3月号

さいたま市立太田小学校
令和6年2月22日(木)発行
全校児童数572人**【学校教育目標】**

「自他を大切に主体的に学び、生きる力をはぐくむ児童の育成」
 ～やさしく かしく たくましく みんなで伸び行く太田小～
 ○思いやりのある子 ○すすんで学ぶ子 ○たくましい子

住所 さいたま市岩槻区仲町1-17-3
 電話 048-756-0515
 FAX 048-758-7487
 メール ota-e@saitama-city.ed.jp
 Web https://ota-e.saitama-city.ed.jp



太田小学校伝統のバトン

校長 田波 巨士

立春が過ぎたとはいえ寒さが続いている折ですが、蛸梅や梅の花が咲いたり、桜の蕾が膨らんできたりと季節は春に向かって進んでいます。早いもので、令和5年度も残り1か月程となりました。子どもたちは、今の学年のまとめをするとともに、次の学年への進級、6年生は卒業へと準備を進めています。

2/9(金)に太田小学校鼓笛隊「炎舞」の移杖式を行いました。移杖式は業前の時間に、全校児童が参加する形で行われました。全校児童が見守る中、6年生が鼓笛隊として最後の演奏「青と夏」を披露しました。誰もが真剣で、全力で、心を一つにした素晴らしい演奏でした。まさに「有終の美を飾る」という言葉がふさわしい立派な姿でした。その後、6年生から5年生に担当の指揮杖・バトン・カラーガード・楽器が受け渡されました。6年生がそれぞれの担当楽器の5年生に、「頑張ってください!」と気持ちを言葉にして伝えている様子に胸が熱くなりました。そして、楽器を受け継いだ5年生が校歌を演奏しました。5年生も一人ひとりがやる気に満ちあふれた大変素晴らしい演奏でした。5・6年生の背筋が伸びた立派な態度、緊張感のある引きしまった表情、演奏が終わって安堵した笑顔、1～4年生の憧れのまなざしや大きな拍手……。鼓笛隊の活動を通して、児童が太田小学校の一員としての自覚を高め、達成感や達成感を味わい、豊かな心をはぐくんでいくことを強く認識する機会となりました。移杖式を終えた6年生と5年生の感想を紹介します。

【6年生の感想】

- ・練習では辛いことや大変なことがたくさんあったけど、移杖式で伝統的な鼓笛隊を受け渡したとき、すごく良い経験になったと思いました。
- ・練習は大変でやめたい時もあったけど、いざ鼓笛隊を受け渡してみるとがんばってよかったなと思いました。もうこのメンバーで鼓笛の演奏をできないことが少し寂しく思います。
- ・できないことがたくさんあり、落ち込んだり、泣いたりしたことがあったので、やめたいと思うこともあったけど、鼓笛を受け渡した瞬間は達成感と同時に寂しい気持ちにもなりました。
- ・1年間、色々な人に支えられて最後までやり遂げた鼓笛隊だったので、移杖式は寂しいような気持ちで取り組んでいました。私たちから見た5年生はとても立派で、自信にあふれた笑顔で演奏していて安心しました。「頑張れ!5年生!!」

【5年生の感想】

- ・移杖式を終えて、あこがれてきた鼓笛隊を「やっと引き継げるんだ」という気持ちでいっぱいでした。これからは太田小のエースとして他学年を盛り上げる努力をしたいと思います。他学年、親、先生など支えてくださっている皆さんのためにも全力でがんばりたいです。
- ・移杖式に向けて、練習を積み重ね、演奏のクオリティや質・技術を高めてきました。また、木琴・鉄琴のリーダーとして責任感をもち、友達にアドバイスしてきました。移杖式で今まで積み重ねてきたことを発揮できました。これでスタートラインに立ったので鼓笛を引き継いで活動していきたいです。
- ・当日は口から心臓が飛び出そうほど緊張しましたが、オーディションのことや、今まで練習してきたことを思い出して演奏ができました。笑顔を意識しました。これからは地域の人たちや家族、他学年の人たちに感動してもらえるような演奏がしたいです。

6年生も5年生も、鼓笛隊を引き継ぐ意味を自分なりにしっかり考えていることが分かります。2/15(木)は、太田小学校の開校記念日でした。これから太田小学校は創立57年目を迎えます。50年以上続いてきた鼓笛隊をはじめ、あいさつ上手や思いやりの心など、太田小学校の良き伝統のバトンが紡がれてきたことは本当に素晴らしいことです。この素晴らしい伝統が、これからも太田小学校の子どもたちに受け継がれていくことを切に願っています。